



## 日本生殖医学会の現状と未来 —専門医制度のあり方について—

一般社団法人日本生殖医学会  
理事長 吉村 泰典  
副理事長 苛原 稔  
市川 智彦  
生殖医療従事者資格制度委員会



## 日本生殖医学会のミッション

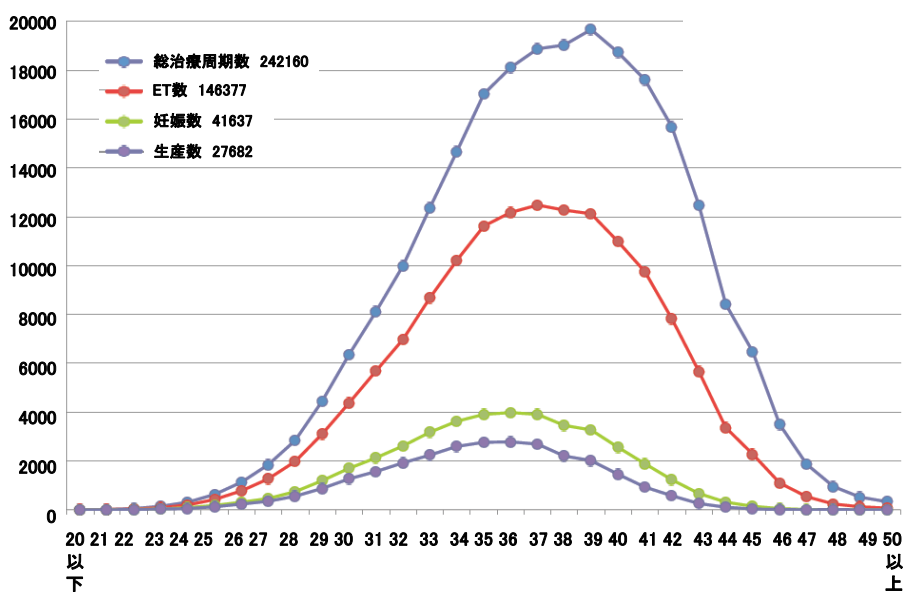
- 生殖医学の発展
- 安全で安心な生殖医療の提供
- 生殖医療専門医の育成

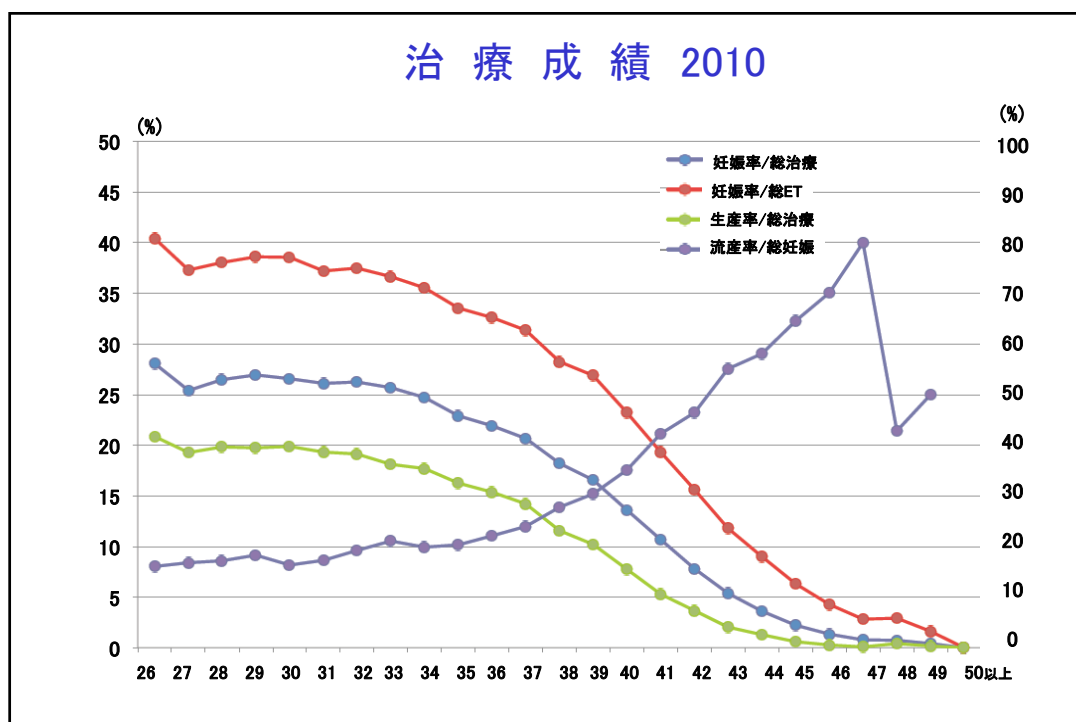
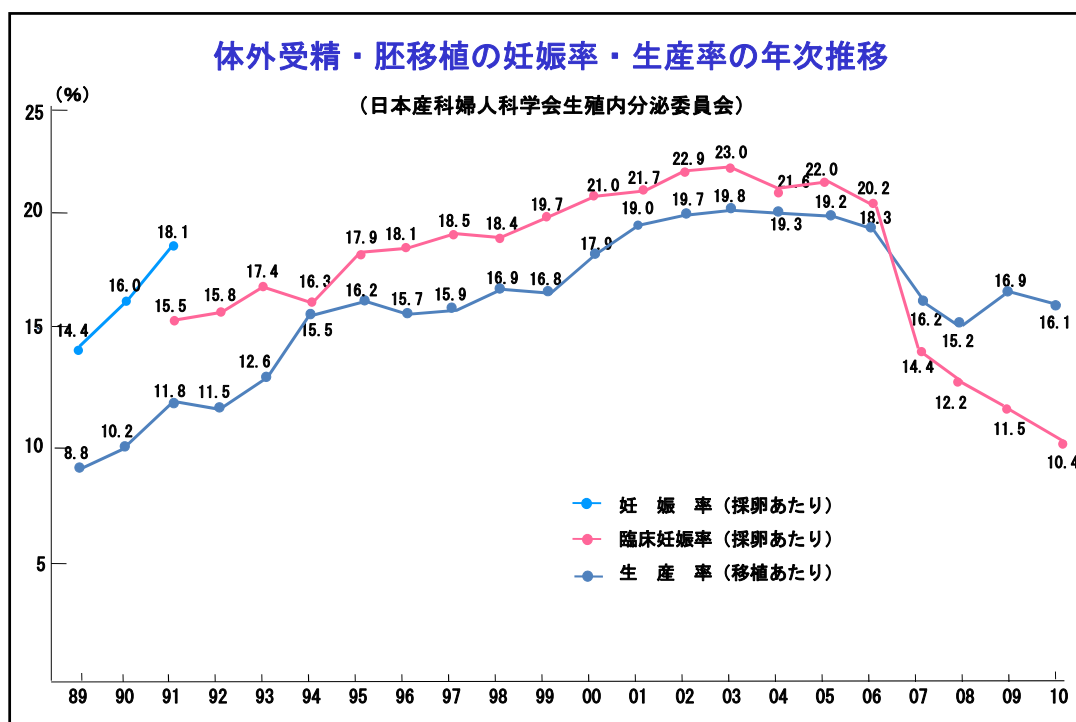


## 日本生殖医学会の沿革

- 1956年3月 安藤先生日本不妊学会理事長就任。10月21日慶應義塾大北里講堂において日本不妊学会創立
- 1970年 12月26日付 日本不妊学会が社団法人となる。
- 1971年 第7回国際不妊学会 東京・京都(長谷川敏雄会長)
- 1989年 倫理委員会設置
- 1993年 学術奨励賞の創設
- 2003年 生殖医療指導医資格認定試験の実施開始。倫理委員会内規の制定
- 2006年 日本不妊学会を日本生殖医学会と改称
- 2012年 一般社団法人への移行認可許可(内閣府認可)
- 2015年 IFFS International Meeting 2015(荻原稔会長)

## 治療総数 2010

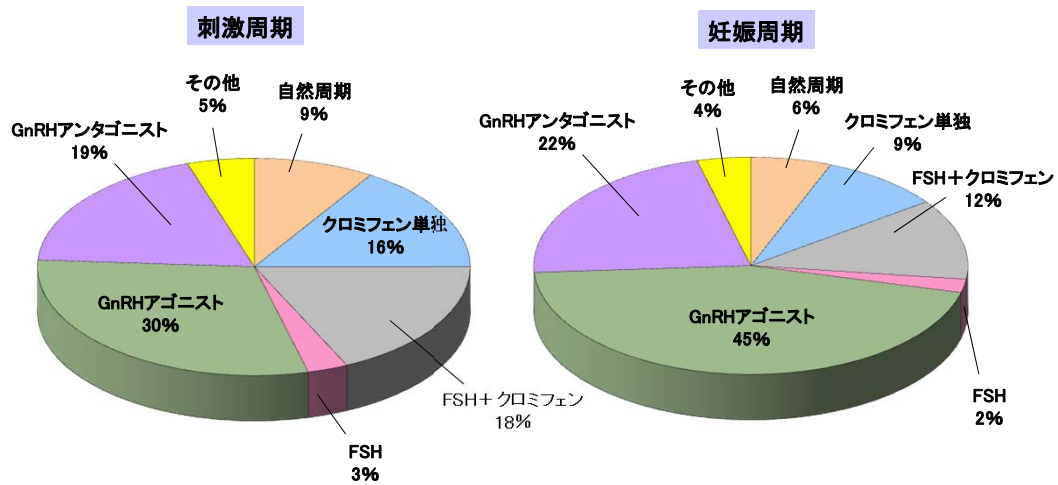




### 総出生児数に対するART出生児の占める割合

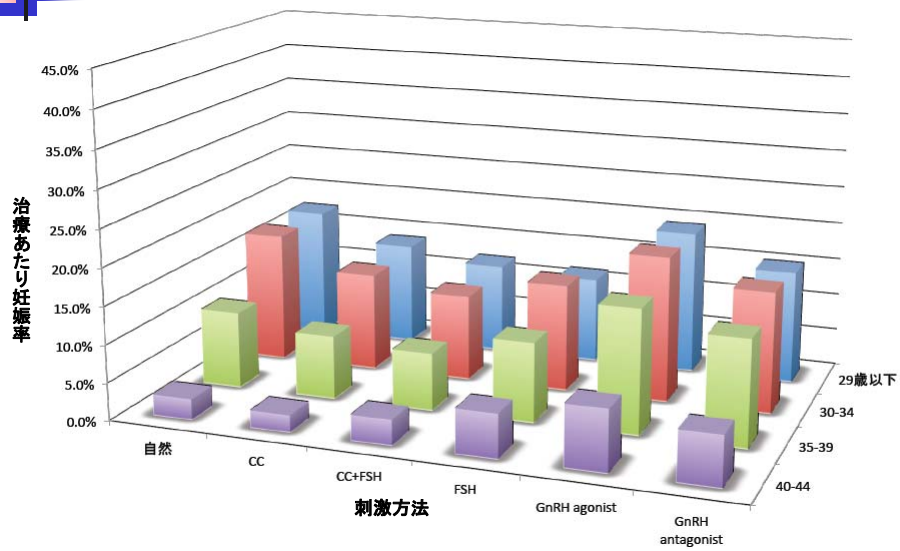
| 西暦     | ART出生児数 | 総出生児数     | (%)  |
|--------|---------|-----------|------|
| 92     | 2,626   | 1,208,989 | 0.22 |
| 93     | 3,554   | 1,188,282 | 0.30 |
| 94     | 4,576   | 1,238,328 | 0.40 |
| 95     | 5,687   | 1,187,064 | 0.48 |
| 96     | 7,410   | 1,206,555 | 0.61 |
| 97     | 9,211   | 1,191,665 | 0.77 |
| 98     | 11,119  | 1,203,147 | 0.92 |
| 99     | 11,929  | 1,177,669 | 1.01 |
| 00     | 12,274  | 1,190,547 | 1.03 |
| 01     | 13,158  | 1,170,662 | 1.12 |
| 02     | 15,223  | 1,153,855 | 1.32 |
| 03     | 17,400  | 1,123,610 | 1.55 |
| 04     | 18,168  | 1,110,721 | 1.64 |
| 05     | 19,112  | 1,062,530 | 1.80 |
| 06     | 19,587  | 1,092,674 | 1.79 |
| 07     | 19,595  | 1,089,818 | 1.80 |
| 08     | 21,704  | 1,091,156 | 1.99 |
| 09     | 26,680  | 1,070,035 | 2.49 |
| 10     | 28,945  | 1,071,304 | 2.70 |
| 累積出生児数 | 271,380 |           |      |

### 体外受精における調節卵巣刺激

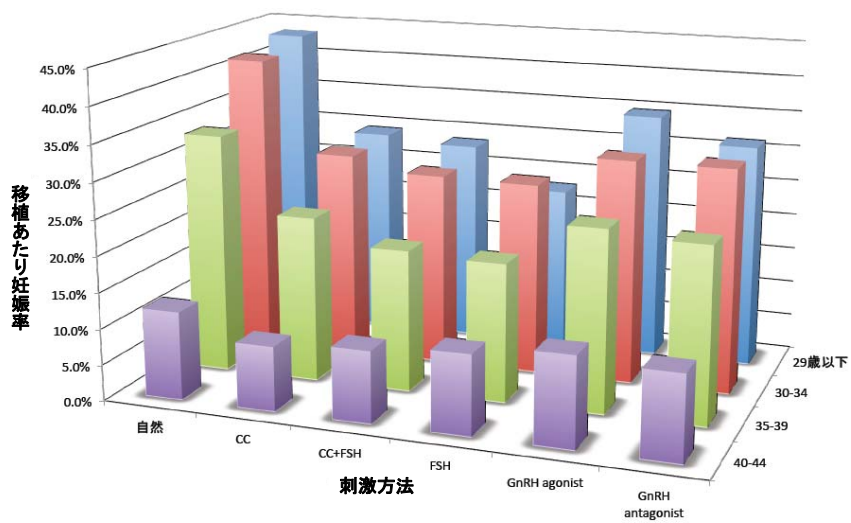


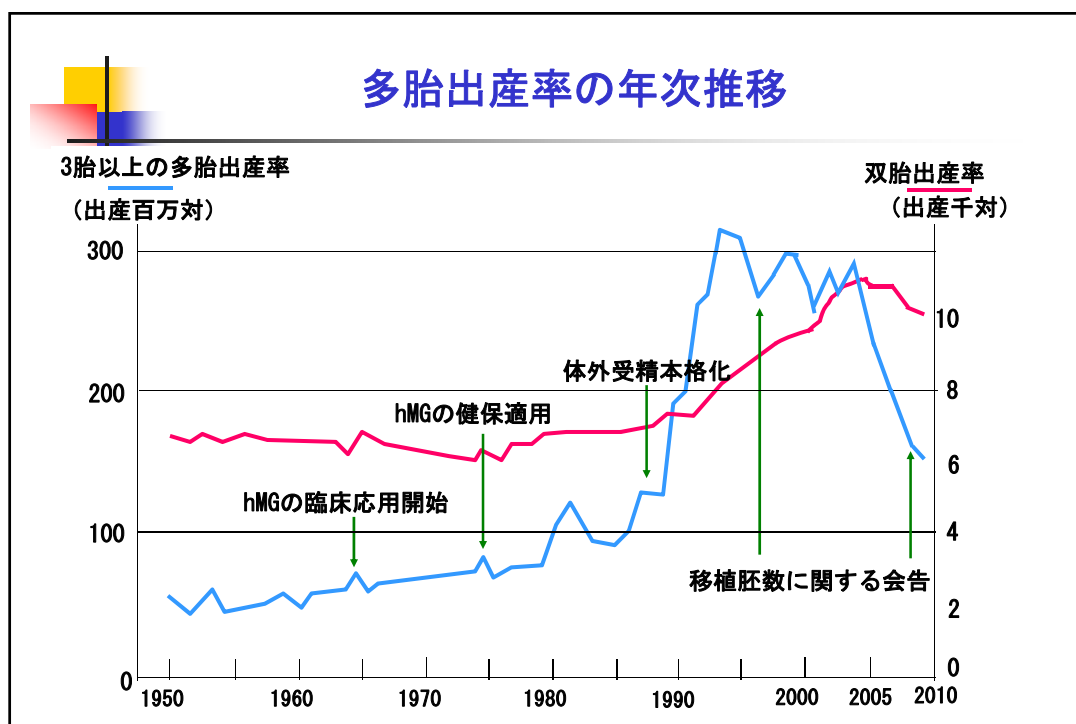
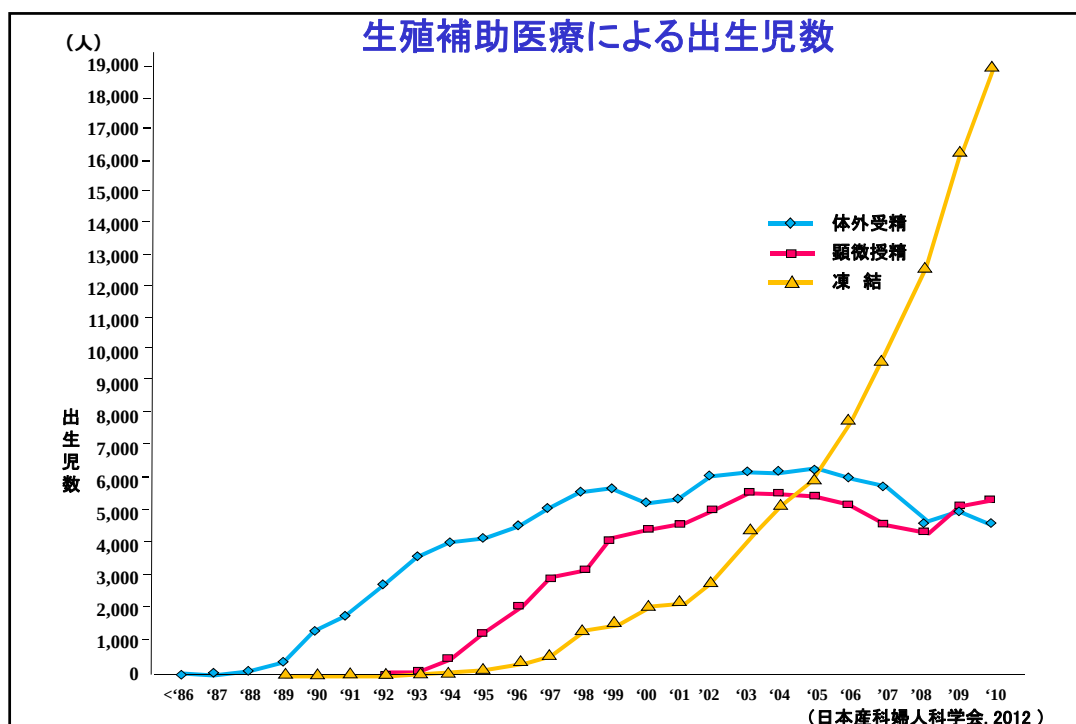
(日本産科婦人科学会, 2010)

## 刺激方法別年齢別治療あたり妊娠率2010



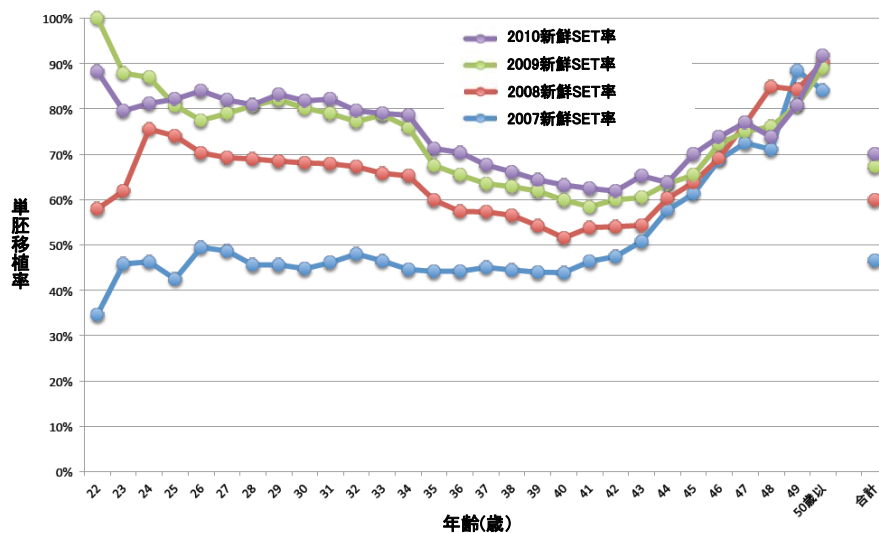
## 刺激方法別年齢別移植あたり妊娠率2010



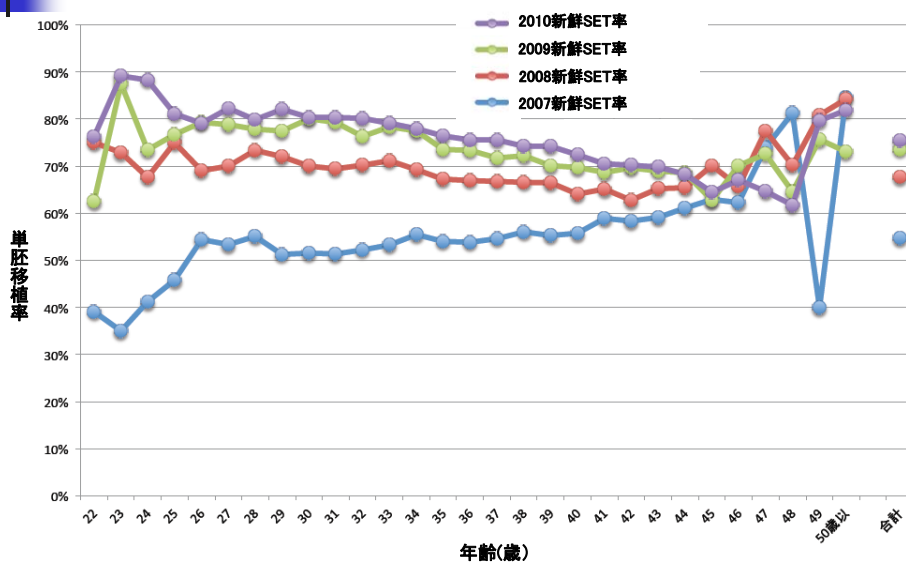




## SET実施率 4年間の比較(新鮮胚移植)

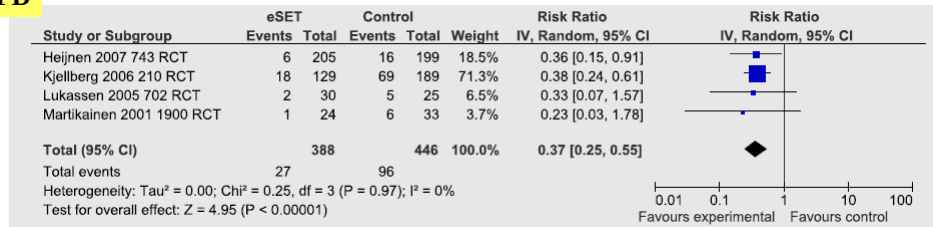


## SET実施率 4年間の比較(凍結胚移植)

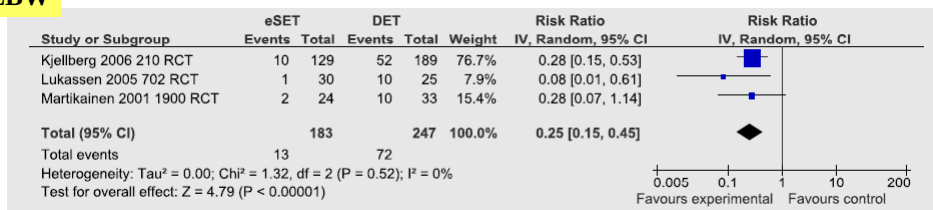


## Preterm Delivery (PD) and Low Birth Weight (LBW) in eSET compared with DET for RCTs

### PD



### LBW



(Grady. eSET perinatal outcomes: meta-analysis. Fertil Steril 2012)

## ARTにおける多胎率の比較

|                            | 新鮮胚    |       | 凍結胚    |        |
|----------------------------|--------|-------|--------|--------|
|                            | 双胎     | 三胎    | 双胎     | 三胎     |
| 日本 (2010) <sup>1)</sup>    | 5.02 % | 0.1 % | 4.58 % | 0.05 % |
| ESHRE (2006) <sup>2)</sup> | 19.9 % | 0.9 % | 13.4 % | 0.4 %  |

- 1) 日産婦誌 64:2110-2140, 2012  
2) Hum Reprod 25:1851-1862, 2010





## 特定不妊治療支援事業の沿革

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 平成16年度創設   | 支給期間2年間として制度開始         |
| 平成18年度より   | 支給期間2年間を5年間に延長         |
| 平成19年度より   | 所得制限額を650万円→730万円に引き上げ |
| 平成21年度補正予算 | 給付金10万円→15万円           |
| 平成22年度予算   | 給付額15万円を継続             |
| 平成23年度予算   | 初年度を年3回に拡充             |



## 特定不妊治療支援事業の支給実績

|        |           |
|--------|-----------|
| 平成16年度 | 17,657 件  |
| 平成17年度 | 25,987 件  |
| 平成18年度 | 31,048 件  |
| 平成19年度 | 60,536 件  |
| 平成20年度 | 72,029 件  |
| 平成21年度 | 84,395 件  |
| 平成22年度 | 96,458 件  |
| 平成23年度 | 112,642 件 |



生殖医療専門医制度細則(旧細則)

新・生殖医療専門医制度細則(新細則)の施行と改定



生殖医療従事者資格制度委員会

|     | 産婦人科   | 泌尿器科  | 基礎生理 |
|-----|--------|-------|------|
| 理 事 | 吉村泰典★  | 市川智彦★ |      |
|     | 苛原 稔★  |       |      |
|     | 石原 理★  |       |      |
|     | 久保田俊郎★ |       |      |
| 幹 事 | 久具宏司   | 小林秀行* |      |
|     | 久慈直昭   |       |      |
|     | 原田竜也   |       |      |
|     | 梶原 健   |       |      |

★委員長、★常任理事、\*担当幹事



## 一般社団法人日本生殖医学会 生殖医療従事者資格制度規約（抜粋）

### 【第1章 総則】

第3条 この法人が認定する生殖医療従事者資格は、**生殖医療専門医**（以下「専門医」という）、生殖医療コーディネーター（以下「コーディネーター」）、生殖補助医療管理胚培養士である

### 【第2章 生殖医療従事者資格制度委員会】

【第3章 生殖医療従事者資格の認定のための条件、研修、審査、認定、登録、資格の更新、資格の喪失】

### 【第4章 不服処理】

### 【第5章 補則】

第16条 本規約はこの法人の**総会の承認**を得なければ変更することができない

第17条 本規約の施行に必要な**細則は別に定める。細則は理事会**の議を経て決定する

### 【第6章 付則】

第18条 本規約は平成14年10月3日から施行する

平成18年4月1日改定

平成22年6月4日改定

平成22年11月11日改定

平成23年6月17日改定

平成24年4月1日改定



## 新・生殖医療専門医制度細則の改定作業

### ● 生殖医療専門医制度細則（旧細則）

平成14年10月3日施行

平成18年4月 第1回目の専門医登録

改定5回（直近平成22年9月13日）

### ● 新・生殖医療専門医制度細則（新細則）

平成22年11月12日施行

平成23年4月 新細則の専攻医登録開始

改定4回（直近平成25年3月29日）

### ＜今後の改定作業＞

平成26年度 規約改定案と新細則改定案を理事会で承認

規約改定案を総会で承認、新細則改定案を総会で報告

平成27年度 **指導医・認定研修施設・研修連携施設の整備**

平成28年4月 **改定後の専攻医登録開始**



## 生殖医療専門医制度細則(旧細則)での申請要件

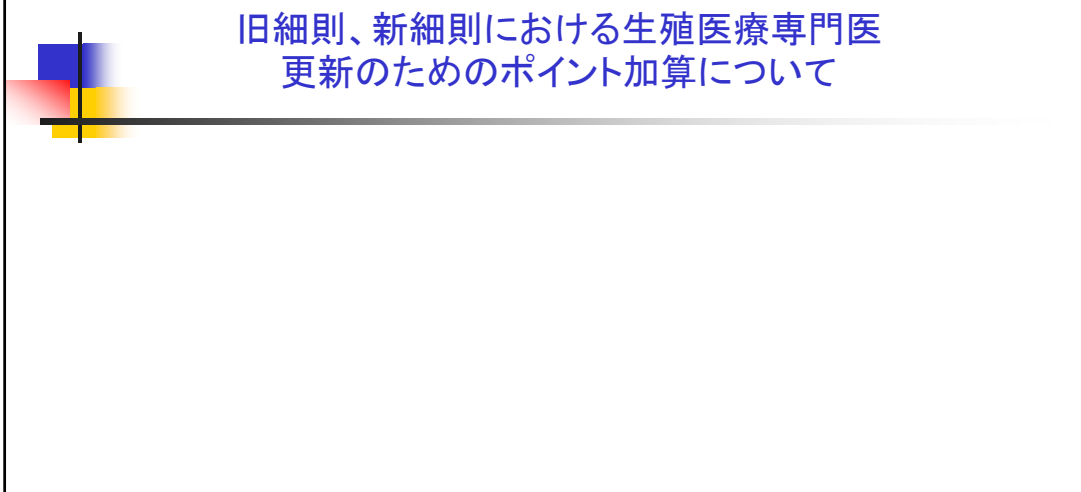
第1条 専門医の認定を申請する者は、次の各号のすべてを満たすものとする

- (1) 日本の医師免許を有する者
- (2) 産婦人科専門医あるいは泌尿器科専門医であり、**通算5年以上日本生殖医学会**(以下この法人)**の会員**である者
- (3) 生殖医療の臨床研修を通算5年以上受けた者で、かつ別項に定める生殖医療臨床研修施設で**3年以上の臨床研修**を行なった者とする
- (4) この法人が認める学術誌等で生殖に関連した**10編以上の学術論文**(共著可、ただしそのうち2編は筆頭著者)、およびこの法人あるいは関連学会で**10回以上の演題発表**(共同発表可、ただしそのうち2回は発表者)がある者
- (5) この法人が実施する生殖医療従事者講習会を受講している者
- (6) この法人が実施する専門医制度試験に合格している者
- (7) 生殖医療専門医として適切な知識、品位と倫理性を備えている者

## 新・生殖医療専門医制度細則(新細則)での研修終了要件

第5条 研修修了の認定を受ける者は、**認定研修施設のカリキュラム**に沿って**3年間**の研修を修了し、研修期間内に次の各号のすべてを満たすものとする

- (1) 引き続き日本生殖医学会会員であり、年会費を完納していること
- (2) **少なくとも1年間以上、認定研修施設に専任で所属の上で研修を行う**(認定研修施設の生殖医療専門医の証明必要)
- (3) 一般不妊症例(不妊関連手術症例を含む)を5例以上、体外受精-胚移植または顕微授精症例を5例以上の計10例以上を経験し、10例分について症例レポートを作成する(認定研修施設の生殖医療専門医の証明必要)
- (4) この法人が**実施する講習会に出席し、所定の単位を取得する**
- (5) 日本生殖医学会学術講演会に**3回出席**する
- (6) 日本生殖医学会学術講演会で**筆頭演者として1回以上**の発表をする
- (7) **生殖医学に関する論文**を、査読のある医学雑誌に筆頭著者として**1編以上**発表する
- (8) 研修期間中あるいは研修開始前に生殖医学に関する**学位を取得している者**には、学位の内容の証明により、(6)および(7)を免除する
- (9) 研修開始前に生殖医学に関する論文を査読のある医学雑誌に筆頭著者として1編以上発表している者には、(6)および(7)を免除する
- (10) 認定を受けるための申請書、研修証明書、症例レポート、および関係書類の様式ならびに講習会の単位の詳細は別途定める



旧制度による生殖医療専門医の認定を2年間暫定的に継続することによる  
 次回の更新までの単位・ポイントの取得について  
 (新・生殖医療専門医制度細則 別表)

| 初回認定                                   | 初回更新                                |                | 次回更新               |
|----------------------------------------|-------------------------------------|----------------|--------------------|
| 平成 18 年 4 月までに旧制度での認定                  | 平成 23 年 4 月旧制度での更新認定                | 新制度での単位・ポイント開始 | 平成 28 年 4 月新制度での更新 |
| 平成 19 年 4 月旧制度での認定                     | 平成 24 年 4 月旧制度での更新認定                |                | 平成 29 年 4 月新制度での更新 |
| 平成 20 年 4 月旧制度での認定                     | 平成 25 年 4 月旧制度での更新認定                |                | 平成 30 年 4 月新制度での更新 |
| 平成 21 年 4 月旧制度での認定                     | 平成 26 年 4 月旧制度での更新認定                |                | 平成 31 年 4 月新制度での更新 |
| 平成 22 年 4 月旧制度での認定                     | 平成 27 年 4 月旧制度での更新認定                |                | 平成 32 年 4 月新制度での更新 |
| 平成 23 年 4 月旧制度での認定                     | 新制度での単位・ポイント開始：平成 28 年 4 月新制度での更新認定 |                |                    |
| 平成 24 年 4 月旧制度での認定<br>(暫定期間 1 年目)      | 新制度での単位・ポイント開始：平成 29 年 4 月新制度での更新認定 |                |                    |
| 平成 25 年 4 月旧制度での認定<br>(暫定期間 2 年目)      | 新制度での単位・ポイント開始：平成 30 年 4 月新制度での更新認定 |                |                    |
| 平成 26 年 (認定該当なし)                       |                                     |                |                    |
| 平成 27 年 4 月新制度での認定<br>(新制度での第 1 回目の認定) | 新制度での単位・ポイント開始：平成 32 年 4 月新制度での更新認定 |                |                    |



## 生殖医療専門医制度細則(旧制度): 更新のためのポイント加算

[http://www.jsrm.or.jp/qualification/specialist\\_renewal.html](http://www.jsrm.or.jp/qualification/specialist_renewal.html)

### I. 更新に必要な条件

1. 5年間本会会員で、更新申請時に会費を完納していること
2. 生殖医学会が指定する学会での研修を点数制(下記に点数表を示す)で評価し、**5年間で150点**を必須条件とする。なお、生殖医療従事者**講習会に5年間で3回**以上出席することを義務とする
3. 5年間の履歴(勤務状態、研究業績、指導成果など)を自己申告する(生殖医療の臨床や生殖医学の研究に従事し、かつ指導的な役割を果たしていること)。詳細については更新年に連絡する

**30点:** 生殖医療従事者講習会(5年間で3回以上出席義務)

**10点:** 日本生殖医学会、各ブロックが開催する学術講演会(2012年4月開催分より適用 旧・地方部会)、日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、ASRM、ESHRE、IFFS、世界体外受精会議、世界ヒト生殖会議

**5点:** 日本受精着床学会、日本生殖内分泌学会、日本生殖免疫学会、日本アンドロロジー学会、日本哺乳動物卵子学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本生殖医学会が認める生殖医療に関連したその他の国際学会



## 新・生殖医療専門医制度細則(新細則): 更新のための要件

第14条 更新を希望する生殖医療専門医は、次の各号のすべてを満たすものとする

- (1) 生殖医療専門医期間中の日本生殖医学会年会費を完納していること
- (2) 日本生殖医学会学術講演会に**5年間で3回**以上出席すること
- (3) 関連学会への出席、学会発表および論文発表により、**5年間で合計150ポイント**以上を取得すること
- (4) この法人が開催する講習会に参加し、**5年間で必要な単位**を取得すること
- (5) 生殖医療専門医期間中に生殖医療を継続していること
- (6) 初回の認定時と同様に産婦人科専門医(日本産科婦人科学会認定)あるいは泌尿器科専門医(日本泌尿器科学会認定)であること
- (7) ポイント制および講習会の単位の詳細は別途定める

## 新・生殖医療専門医制度細則(現行制度):

### 更新のためのポイント加算

<参考資料に記載>

(1)日本生殖医学会学術講演会 1回20ポイント

(2)学会参加または業績によるポイント

\*ポイントを取得できる学会

(10ポイント)

各ブロックで開催する学術講演会(旧・地方部会)(2012年度より摘要)

(5ポイント)

日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、ASRM、ESHRE、IFFS、国際体外受精会議、世界ヒト生殖会議、

日本受精着床学会、日本生殖内分泌学会、日本生殖免疫学会、日本アンドロロジー学会、

日本哺乳動物卵子学会、日本産科婦人科内視鏡学会

その他生殖医療に関連する学会で生殖医療従事者資格制度委員会が認めるもの

\*学会発表および論文発表により取得できるポイント

【学術発表】

生殖関連学会発表(日本)筆頭 10ポイント連名5ポイント

生殖関連学会発表(国際)筆頭 10ポイント連名5ポイント

【学術誌・著書等における論文発表】

生殖関連和文雑誌掲載論文 筆頭 20ポイント連名10ポイント

生殖関連欧文雑誌掲載論文 筆頭 20ポイント連名 10ポイント

(3)講習会への参加

認定期間(5年間)に必要な6単位項目を受講する

## (3) 講習会への参加

認定期間(5年間)に必要な6単位項目を受講する

| 単位数 | 単位項目                  | 時間(分) | 新規必須項目 | 更新必須項目 |
|-----|-----------------------|-------|--------|--------|
| 1   | (1) 生殖医療総論・トピック       | 30    | *      | *      |
| 1   | (2) 生殖倫理・関係法規         | 30    | *      | *      |
| 1   | (3) 生殖遺伝              | 30    | *      |        |
| 1   | (4) 女性生殖生理・生殖内分泌      | 30    | *      |        |
| 1   | (5) 男性生殖生理・生殖内分泌      | 30    | *      |        |
| 1   | (6) 生殖免疫、感染症等         | 30    | *      |        |
| 1   | (7) 治療総論・検査・診断        | 30    | *      | *      |
| 1   | (8) 一般治療各論Ⅰ(排卵誘発)     | 30    | *      |        |
| 1   | (9) 一般治療各論Ⅱ(女性手術、不育症) | 30    | *      |        |
| 1   | (10) 一般治療各論Ⅲ(男性不妊)    | 30    | *      |        |
| 1   | (11) 一般治療最近の進歩        | 30    | *      | *      |
| 1   | (12) 生殖補助医療総論・管理      | 30    | *      | *      |
| 1   | (13) 生殖補助医療各論Ⅰ(体外受精)  | 30    | *      |        |
| 1   | (14) 生殖補助医療各論Ⅱ(顕微授精)  | 30    | *      |        |
| 1   | (15) 生殖補助医療最近の進歩      | 30    | *      | *      |

旧制度による生殖医療専門医の認定を2年間暫定的に継続することによる  
次回の更新までの単位・ポイントの取得について  
(新・生殖医療専門医制度細則 別表)

| 初回認定                                           | 初回更新                                   | 新制度での<br>単位・ポイント<br>開始 | 次回更新                   |
|------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------|------------------------|
| 平成 18 年 4 月までに旧<br>制度での認定                      | 平成 23 年 4 月旧制度で<br>の更新認定               | 新制度での<br>単位・ポイント<br>開始 | 平成 28 年 4 月新制度で<br>の更新 |
| 平成 19 年 4 月旧制度で<br>の認定                         | 平成 24 年 4 月旧制度で<br>の更新認定               |                        | 平成 29 年 4 月新制度で<br>の更新 |
| 平成 20 年 4 月旧制度で<br>の認定                         | 平成 25 年 4 月旧制度で<br>の更新認定               |                        | 平成 30 年 4 月新制度で<br>の更新 |
| 平成 21 年 4 月旧制度で<br>の認定                         | 平成 26 年 4 月旧制度で<br>の更新認定               |                        | 平成 31 年 4 月新制度で<br>の更新 |
| 平成 22 年 4 月旧制度で<br>の認定                         | 平成 27 年 4 月旧制度で<br>の更新認定               |                        | 平成 32 年 4 月新制度で<br>の更新 |
| 平成 23 年 4 月旧制度で<br>の認定                         | 新制度での単位・ポイント開始：平成<br>28 年 4 月新制度での更新認定 |                        |                        |
| 平成 24 年 4 月旧制度で<br>の認定<br>(暫定期間 1 年目)          | 新制度での単位・ポイント開始：平成<br>29 年 4 月新制度での更新認定 |                        |                        |
| 平成 25 年 4 月旧制度で<br>の認定<br>(暫定期間 2 年目)          | 新制度での単位・ポイント開始：平成<br>30 年 4 月新制度での更新認定 |                        |                        |
| 平成 26 年 (認定該当な<br>し)                           |                                        |                        |                        |
| 平成 27 年 4 月新制度で<br>の認定<br>(新制度での第 1 回目の<br>認定) | 新制度での単位・ポイント開始：平成<br>32 年 4 月新制度での更新認定 |                        |                        |

更新のためのポイント加算における  
旧細則と新細則の大きな違い

旧細則：講習会参加 1回30ポイント  
新細則：講習会参加 ポイント加算無し

5年間のポイント加算の比較

|      | 日本生殖医<br>学会・学術講<br>演会 | 生殖医療従<br>事者講習会     | 日本産科婦<br>人科学会 | 総獲得<br>ポイント |
|------|-----------------------|--------------------|---------------|-------------|
| 出席回数 | 3                     | 3                  | 3             |             |
| 旧制度  | 10×3                  | 30×3 <sup>#2</sup> | 10×3          | 150         |
| 新制度  | 20×3 <sup>#1</sup>    | 0×3 <sup>#3</sup>  | 5×3           | 75          |

<sup>#1</sup> 5年間に3回以上出席 <sup>#2</sup> 5年間に3回以上受講

<sup>#3</sup> 必要単位の取得に最低3回受講が必要





A先生： B大学病院准教授  
2006年(平成18年)4月1日生殖医療専門医認定

2006年4月～2011年3月：旧制度でのポイント加算

|      | 日本生殖医<br>学会・学術講<br>演会 | 生殖医療従<br>事者講習会 | 日本産科婦<br>人科学会 | 総獲得<br>ポイント |
|------|-----------------------|----------------|---------------|-------------|
| 出席回数 | 5                     | 3              | 5             |             |
| 旧制度  | 10×5                  | 30×3           | 10×5          | 190         |



2011年4月～2016年3月：新制度でのポイント加算

|      | 日本生殖医<br>学会・学術講<br>演会 | 生殖医療従<br>事者講習会 | 日本産科婦<br>人科学会 | 総獲得<br>ポイント |
|------|-----------------------|----------------|---------------|-------------|
| 出席回数 | 5                     | 3              | 5             |             |
| 新制度  | 20×5                  | 0×3            | 5×5           | 125         |



C先生： Dクリニック副院長  
2006年(平成18年)4月1日生殖医療専門医認定

2006年4月～2011年3月：旧制度でのポイント加算

|      | 日本生殖医<br>学会・学術講<br>演会 | 生殖医療従<br>事者講習会 | 日本産科婦<br>人科学会 | 総獲得<br>ポイント |
|------|-----------------------|----------------|---------------|-------------|
| 出席回数 | 3                     | 5              | 2             |             |
| 旧制度  | 10×3                  | 30×5           | 10×2          | 200         |



2011年4月～2016年3月：新制度でのポイント加算

|      | 日本生殖医<br>学会・学術<br>講演会 | ブロック<br>学術講演<br>会 | 生殖医療<br>従事者講<br>習会 | 日本産科<br>婦人科学<br>会 | 総獲得<br>ポイント |
|------|-----------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------|
| 出席回数 | 3                     | 5                 | 8                  | 5                 |             |
| 新制度  | 20×3                  | 10×5              | 0×8                | 5×5               | 135         |





## 新制度での更新要件を緩和 更新に必要なポイント 150→100

第14条 更新を希望する生殖医療専門医は、次の各号のすべてを満たすものとする

- (1) 生殖医療専門医期間中の日本生殖医学会年会費を完納していること
- (2) 日本生殖医学会~~総会~~・学術講演会に5年間で3回以上出席すること。
- (3) 関連学会への出席、学会発表および論文発表により、5年間で合計~~100+50~~ポイント以上を取得すること
- (4) この法人が開催する講習会に参加し、5年間で必要な単位を取得すること
- (5) 生殖医療専門医期間中に生殖医療を継続していること
- (6) 初回の認定時と同様に産婦人科専門医(日本産科婦人科学会認定)あるいは泌尿器科専門医(日本泌尿器科学会認定)であること
- (7) ポイント制および講習会の単位の詳細は別途定める

平成25年3月29日改定



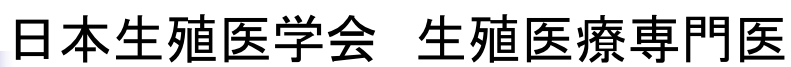
## 2011年4月～2016年3月： 新制度(2013年3月29日改定)でのポイント加算例

|      | 日本生殖医学会・学術講演会 | ブロック学術講演会 | 生殖医療従事者講習会 | 日本産科婦人科学会 | 総獲得ポイント |
|------|---------------|-----------|------------|-----------|---------|
| 出席回数 | 5             | 0         | 3          | 0         |         |
| 新制度  | 20×5          | 10×0      | 0×3        | 5×0       | 100     |



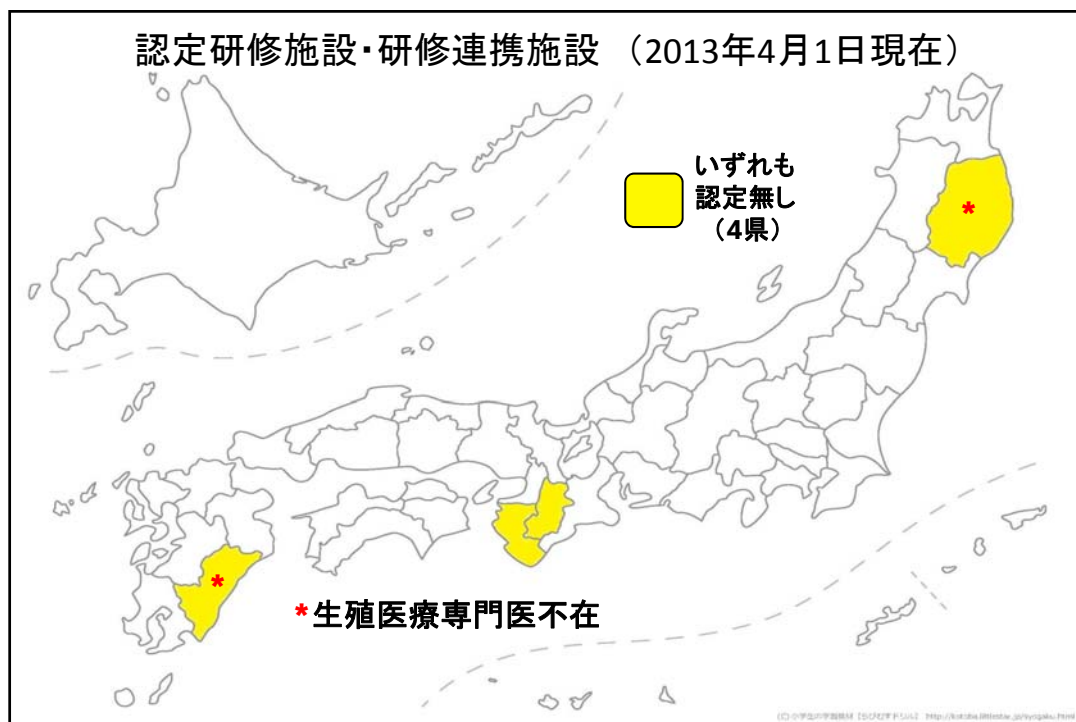
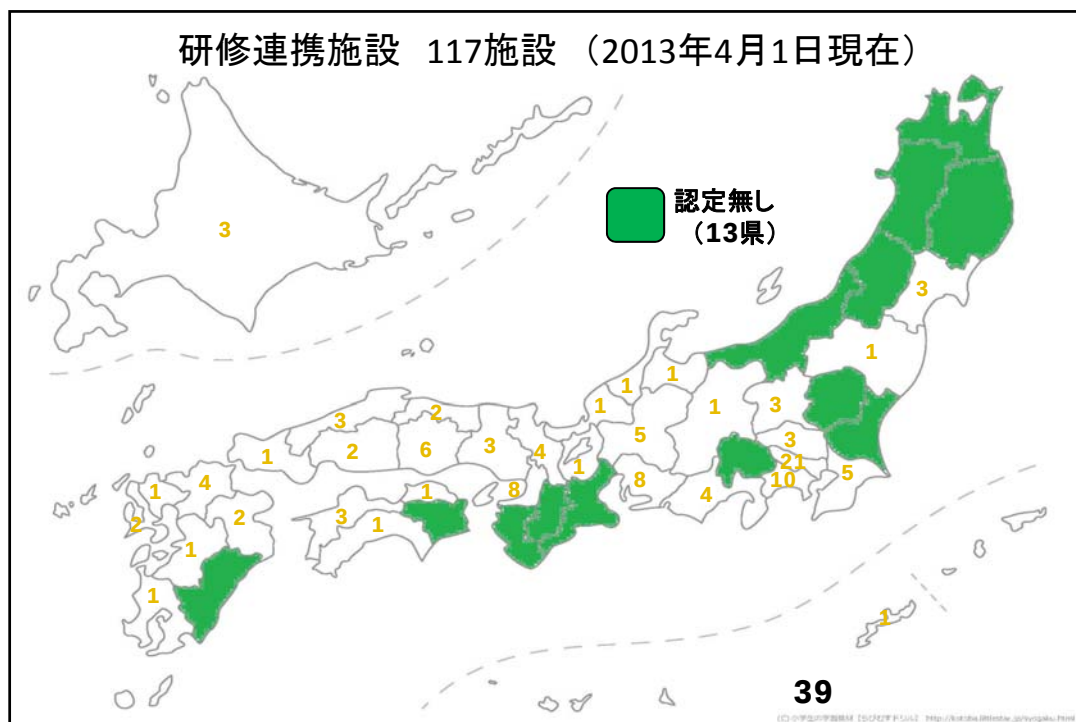
|      | 日本生殖医学会・学術講演会 | ブロック学術講演会 | 生殖医療従事者講習会 | 日本産科婦人科学会 | 総獲得ポイント |
|------|---------------|-----------|------------|-----------|---------|
| 出席回数 | 3             | 3         | 3          | 2         |         |
| 新制度  | 20×3          | 10×3      | 0×3        | 5×2       | 100     |





**2013年4月現在**







## 生殖医療従事者資格制度規約、新・生殖医療専門医制度細則 改定のタイムスケジュール（予定）

- 2013年(平成25年)度
  - ✓ 生殖医療従事者資格制度委員会:規約・細則の改定案を作成
  - ✓ 常任理事会・理事会:改定案の審議
  - ✓ 総会・各ブロック:規約・細則の見直しを行っていることを周知
- 2014年(平成26年)度
  - ✓ 6月:理事会・総会:最終改定案の審議
  - ✓ 12月:理事会・総会:決議、施行日は2015年4月1日
- 2015年(平成27年)度
  - ✓ 4月:総会・学術講演会:改定されたことを周知
  - ✓ 暫定指導医(仮称)・認定研修施設・研修連携施設の整備
- 2016年(平成28年)度
  - ✓ 2016年4月1日:改定細則の基準に従って認定研修施設と連携研修施設を新規に認定。
  - ✓ 4～6月:改定細則に従って専攻医の研修開始申請受付



日時: 2015年4月26日 (日) – 29日 (水)

場所: パシフィコ横浜

## スケジュール案

|          | Morning         | Afternoon       | Evening                                |
|----------|-----------------|-----------------|----------------------------------------|
| 4月25日(土) |                 | 日本生殖医学会役員会      |                                        |
| 4月26日(日) | 第60回<br>日本生殖医学会 | 第60回<br>日本生殖医学会 | IFFS Opening<br>& Welcome<br>Reception |
| 4月27日(月) | IFFS            | IFFS            | IFFS                                   |
| 4月28日(火) | IFFS            | IFFS            | IFFS                                   |
| 4月29日(水) | IFFS            |                 |                                        |

第60回日本生殖医学会学術集会長 今井 裕 (京都大学農学研究科)

## IFFS 2015 組織委員会

|      |      |                                                                                       |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 名誉会長 | 吉村泰典 |  |
| 会長   | 苛原 稔 |  |
| 事務総長 | 木村 正 |  |



## 現在の予定

- 本年7月ごろには1st サーキュラーを配布予定  
来年7月ごろより一般講演募集開始
- 第60回日本生殖医学会学術集会では特別講演、シンポジウムなどの指定講演のみとし、一般講演はIFFS2015で発表していただく
- 外国から500名以上、日本から1500名以上の参加者を予定している
- IFFS2015への参加者には専門医資格更新に関するポイントを特別に付与する